

学校教育目標

郷土を愛したくましく生きよう
自ら学ぶ意欲を持ちつづけよう

スクールミッション

地域（唯一）の高校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創っていく生徒の育成

目指す生徒像

挑戦する生徒【郷土を愛するとともに、たくましい未来を切り拓く生徒】
自律する生徒【自ら学ぶ意欲を持ち、目標に向かって挑戦し続ける生徒】
感化し合う生徒【自他の命を尊重し、互いに思いやり、高め合う生徒】

【徳】豊かな心

- 失敗を恐れずに挑戦する心
- 自他を尊重する心

【体】健やかな体

- 基本的生活習慣
- 心身の状態を自分で把握し、管理・調整する力

【知】育成を目指す資質・能力

- 傾聴力 相手の気持ちに寄り添いながら、話を聴く力
- 自省力 客観的に振り返り、反省する力
- 自己実現力 常に新しい目標を掲げ、道筋を考え、努力する力
- 協働力 他と協働する力
- 理解力 聴いたり、読んだりしたことを理解する力
- 表現力 自分の考えや感情を、周囲にわかりやすく伝える力
- 議論する力 協働して、問題解決のための最善策を見いだす力
- 批判力 物事を多面的、客観的に捉え、考え・発言する力
- 情報活用力 情報及び情報技術を適切に収集・活用し、問題を発見・解決する力

目指すべき学校像

- 弟子屈探究における「地域探究と自己探究との往還」を通して、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力や、社会の形成に主体的に参画するための資質・能力が育まれる学校
- 学校運営協議会等の関係機関との連携・協働による地域・社会の課題解決に向けた学びができる学校
- 多様な生徒一人一人に応じた探究的な学びや、STEAM教育など実社会での課題解決に生かしていくための教科等横断的な学びができる学校

スクール・ポリシー

- 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）
幅広い知識と高い学力、課題解決力を身に付けると共に、自分の属している場所に誇りと愛情を持ち、主体的に自らの進路や社会の未来を切り拓く力と豊かな人間性を備えた多様な人物の輩出を目指す。
- 教育課程編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
基礎力の定着及び「コース別」「自由選択科目」「探究」の各学習活動を通して学力向上を目指すと共に、弟子屈町や町内事業所等と連携しスキルアップのための講座や学習活動を実施する。
- 入学者の受入に関する方針（アドミッション・ポリシー）
次の1～3の全てに該当し、
 1. 本校で学びたいという強い意志をもつ生徒
 2. 他の人と協働して目的を達成することのできる生徒
 3. 人間尊重の精神を持ち、社会貢献の意識の高い生徒
 次の4、5のいずれかに該当する生徒
 4. 高い志と知的探究心を持ち意欲的に学習に取り組む生徒
 5. 弟子屈町の未来を創造し、地域・社会の課題解決に向けて主体的に取り組む生徒

「何を学ぶか」

- 基礎学力を身に付けること
- 学習や人生において、各教科等の「見方・考え方」を自在に働かせること
- 各授業において言語化し表現すること
- 情報の適切な処理及び表現すること
- 人間としての在り方・生き方について主体的に考えること
- さまざまな人と協働すること
- 課題を発見し、科学的に思考・判断して、問題を解決すること

「どのように学ぶか」

- 各授業における言語・表現活動（プレゼン、作文・小論文、ポートフォリオなど）
- インターネットを活用した情報収集と活用
- 各種学校行事やボランティアなどの体験活動及び生活に関する各種教育活動（道德教育、主権者教育、消費者教育など）
- 学校設定科目の設置（弟子屈探究、チャレンジスタディ）
- グループワークにおける合意形成を体験（ディスカッション、ディベートなど）

「何が身に付いたか」

- 「何を理解しているか、何ができるか（生きて働く「知識・技能」の習得）」
- 「理解していること・できることをどう使うか（未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成）」
- 「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養）」

「子供たちの発達をどのように支援するか」

- 自分の心身に関心を持ち、具体的な課題解決ができる資質・能力を育て、行動できるよう促す
- 人間関係に困難さを抱えている生徒に対し、伝える力を養う

「実施するために何が必要か」

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- 教員のスキルアップのための研修・教科横断的な視点での教科連携
- 外部機関との連携（行政・小中学校、地元企業、民間教育団体など）
- 各種アセスメントの結果を踏まえた組織的かつ計画的な教育活動の質の向上

重点目標

- 生徒一人一人を理解し、主体性を持たせ、積極的に学校生活を送る姿勢を育て、生徒の自己実現を果たす。

学習指導

1. 基礎・基本を重視するとともに、学習到達目標を明確にし、学力の向上を図る。
2. シラバスを活用し、生徒一人一人の可能性を引き出す指導法の改善と、観点別学習状況の評価を十分に活用した「指導と評価の一体化」を図る。
3. 生徒の興味・関心や習熟度に応じた指導方法の改善を充実させ、公営塾のより一層の活用や家庭学習を含めた主体的学習態度と学習習慣の確立を図る。
4. 探究活動を核とした教科横断的な指導体制の確立を図る。

生徒指導

1. 生徒一人一人の特性を理解し、教職員全体の共通理解に基づく課題予防的生徒指導を行う。
2. 基本的生活習慣を確立し、生徒の主体性を育むとともに、リーダー性を高める指導を行う。
3. 特別活動や勤労体験、ボランティア活動などの体験的活動を通して、自己有用感を高め、他を尊重し協働する態度や自律心、忍耐力を育てる。
4. 家庭や小・中学校、校外の関係機関との連携を深め、地域と一体感のある困難課題対応的生徒指導に対応する環境整備を推進する。

いじめへの対応

1. 積極的ないじめの認知により、いじめの早期発見・早期防止に努める。
2. いじめが生じた際に、いじめ対策委員会を中心に学校全体で組織的にかつ迅速に対応できるよう、常にその改善に努める。

進路指導

1. 生徒一人一人に自己理解を深めさせるとともに、小・中学校との連携を推進し、社会でたくましく生きるために必要な系統的なキャリア教育を行う。
2. キャリア教育を通して、主体的な進路目標を早期に確立させる。
3. 進学希望生徒に対しては、計画的にガイダンス・講習・模試などを実施し、自らが望む自己実現を図る。
4. 就職希望生徒に対しては、積極的な職場開拓と就職情報の収集と提供を行うとともに、計画的にガイダンス・講習・模試などを実施し、自らが望む自己実現を図る。

健康・安全指導

1. 自他の生命を尊重し、交通安全やメディアリテラシー等を意識させるなど、安全に生活する習慣と態度を育成する発達支持的生徒指導を行う。
2. 健康の保持増進と心の問題等の早期発見・早期対応を目指し、指導を工夫改善するとともに、教育相談体制の充実と促進を図り、課題予防的生徒指導を行う。
3. 学校内外の美化活動を通して、環境保全への意識や公共心・愛校心を高揚させる。
4. 地震・火災等を想定した防災訓練等を実施し、安全教育の内容と方策を工夫・改善させるとともに、平時における安全点検を徹底する。